ドラッグレター(2019年 11月号)

2 年生



免疫のお話『予防接種』編

インフルエンザワクチンの接種時期

Y

: インフルエンザウイルスに 感染するのを予防するため の免疫(抗体といいます)

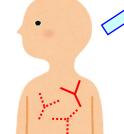


インフルエンザワクチンを 接種する時期は 11 月中頃が おすすめです



ワクチンを接種

抗体が存在しない状態 (11 月中頃)



抗体が十分に存在しない状態 (5月初め頃~)





抗体が十分に存在する状態 (12 月初め頃〜5 月初め頃)



抗体が作られている状態 (11 月中頃~12 月初め頃)

抗体ができるまで 2~3週間かかります

予防(免疫)が期待できるのは 接種後約 5 ヵ月までのため、 ワクチンは毎年接種する 必要があります

インフルエンザワクチンを毎年接種するのには、2つの理由があります。

- ▶ 1つ目…ワクチンの効果が長く続かないから
- > 2つ目…ウイルスが毎年変化するから

ワクチンの効果は、接種後約5ヵ月までです。

ワクチンは、毎年11月中頃に接種することがおすすめです。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 一出張相談会 - 保健室に学校薬剤師が来ます 》 ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用など について、相談・聞きたいことがある人は保健室まで! 11月 18日 16時30分 ~ 17時30分 作成·発行元

在性人子架子的 准教授 大柳賀津夫**(学校薬剤師)** 講師 岡本晃典(薬剤師) 6年生 村中佑晟·木山美佳



